



## 地区の現況と課題

観光客等の来街者だけでなく、住民にとっても魅力的でぬくもりとふれあいを感じられるまちづくりが求められている。しかし、近年のモータリゼーションの進展に対応する施設の整備や、多くの文化的・歴史的資源をつなぐ都市空間の整備が不十分なことから、中心市街地としての活力が低下している。

## 提案事業の特徴

### 中央通り歩行者優先道路（トランジットモール）社会実験・実現化計画

中央通りを歩行者優先型道路にすることで、街なかの回遊性を向上させ、賑わいを誘導するものである。社会実験により、その実現に向けた計画の策定と市民の合意形成を図るものである。

### 長野灯明まつり

長野の特色を活かした冬のイベントとして、街なかの賑わい創出や長野オリンピックメモリアルイベントの一つとして長野灯明まつりを開催する。

### もんぜんぶら座拡大活用事業

もんぜんぶら座は、閉店した中心市街地の大型商業店舗の空きビルを長野市が取得し、その一部を改修して市民活動と交流の場として提供をしている施設である。取得したビルの未利用階について改修工事を行い、市民向けの施設を導入するとともに、中心市街地における利便性の向上を図る計画である。

## 計画策定プロセス

### 計画の時代的背景

本地区は善光寺の門前町として古くから多くの参拝者を集め、永く本市の中心市街地として栄えてきた。また、長野オリンピック開催時の表彰式会場としても利用された。しかし、近年の郊外型の開発に伴い、中心市街地の人口は流出し、更に大型店の相継ぐ撤退等により、まちなかの衰退・空洞化が顕著に現れていた。

### まちづくりの計画

善光寺表参道地区の計画策定の基には、長野市中心市街地活性化基本計画（長野地区）や長野中央地域市街地再生計画及び具現化計画による方針や具体的な取り組み計画がある。この計画は学識経験者や民間諸団体、地域住民等により計画が策定されており、まちづくり交付金「善光寺表参道地区」の都市再生整備計画にも活かされている。

## 長野市長鷲澤正一氏のコメント

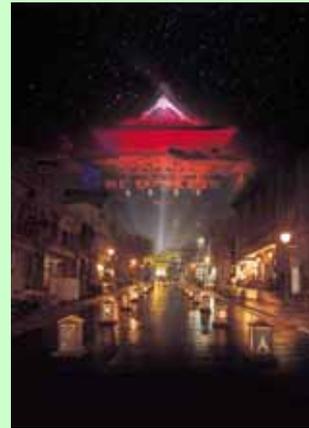
善光寺表参道を中心としたこの地区を、「歩いて楽しめるまち」とすることが目標であり、そのための拠点施設づくりと、その施設と施設の点をどのように結び付けて線として行くかを都市再生整備計画書に盛り込み、結果として中心市街地の活性化並びに商店街の賑わい再生に繋がりたいと考えています。しかしながら、基幹事業で行った再開発事業や提案事業の歩行者優先道路化計画などの民間主体事業を計画的に進めていくためには、関係権利者等との調整や協議を早めに行い、適宜に都市再生整備計画の変更を行っていくことが必要です。

## 提案事業紹介

### 歩行者優先型道路実験中



長野灯明まつりポスター



もんぜんぶら座風景



## 基幹事業状況

再開発事業 TOiGO 完成(H18.9)



## トイーゴ広場活用状況

